

議会報告会 報告書

地域名	出合地区			
年月日	平成23年4月26日	会場名	出合コミュニティセンター	
開始時間	午後7時30分		終了時間	午後9時20分
参加数	男 5人	女	人	合計 5人
班長	勝地恒久		司会者	勝地恒久
報告者	竹浦昭男		書記	深澤 巧
班員名	勝地恒久、竹浦昭男、深澤巧、安井義隆（欠席）			
	市 民		対 応	
報告に対する質疑	<p>① 基金条例で2億8千万円を積んでいく方針だが、過疎化が予想を越えるスピードで進んでいく中で基金に積むのではなく有効に使っていくことが必要ではないか。また過疎地域自立促進計画だが、議員は地域が抱える思いや問題点を捉えて計画を議論する視点をもってきたのか。</p> <p>② 川原場から鹿倉口間の市道が落石危険等で通行止めになっている。いつ頃まで通行止めなのか。</p> <p>③ 企業誘致条例と商工業振興条例の一部改正は、過去の誘致の規模だとか実態をリサーチしたうえでの制限を緩めた内容か。予算での見込みはどうか。空振りに終わらないように審議を深めてもらいたい。</p> <p>④ 一般会計補正予算で災害時要援護者台帳管理システムは市社協に委託に出しているものか。また防災マップづくりは市が積極関与していかないと完全なもの出来ない。避難所も昼と夜とは異なる、また公民館だからと機械的に決めても危険なケースがでてくる。</p> <p>⑤ 妙見自然の家の廃止は残念でありもったいない。時代の流れとは思いますが市の方で利用努力はしてきたのか。</p>		<p>① 今回の過疎計画の特徴は過疎債がソフト事業にも使えること。貯めっぱなしかという議員質疑に、途中でもソフト事業で必要となれば取り崩すと当局答弁あり。過疎計画は今までの地域からの宿題が全て含まれている計画と理解している。地域や市民の思いを捉えた視点で議論をしてきたつもりではある。</p> <p>②（後日回答分）現在、豪雨により路肩が一部崩壊し通行止めになっている。応急復旧は困難であり、本格的に復旧工事をしたいので、今シーズンの補助災害の認定を受けられるまで待つて頂きたい。</p> <p>③ 商工会等との議論を踏まえて条件を緩和したという改正で、これで具体的に何社を実現させようというものは無い。議会としては地元企業の実態調査をすべきだと指摘している。企業誘致条例関連では、新規ではないが雇用補助3件、水道料助成3件、固定資産税相当助成2件を予算化している。</p> <p>④ 福祉防災マップづくりに関連してのもので22～23年度の3年間の委託事業。22年度末で163行政区のうち112行政区が出来上がる。防災マップについては、避難所の実態を把握したものにする必要性があり、その取り組みを後押ししている。当局に、現在進めているマップを活用しながら更に十分内容を検討するよう伝える。</p> <p>⑤ 施設の老朽化、湿気による傷みでいたしかたない面がある。トイレのみ利用できるようにする。</p>	

意見交換会 での質疑	<p>① 養父市と明石市との姉妹提携に関連し、国際スキー場は明石市民に対し1000円の割引をしている。明石市でも養父市民に対して割引する何かの恩典があるのか。</p> <p>② 中瀬鉱山の世界文化遺産の取り組みはどうか。石見銀山を見てきたが規模をみると養父市もやれると確信をもった。佐渡金山の取り組みもあり世界遺産登録の動きに火が付いている。生野・明延も頑張っているが、中瀬を含めての取り組みにならないか。市民に働きかけをしたいが議会も理解願いたい。</p> <p>③ せっかく立派な病院があるのに診療科がなくなる話を聞くと寂しい思いがある。養父市消防本部の救急車が八鹿病院を通り越して豊岡病院に連れて行くというのはどうなのか。お金がかかるかもしれないが、いい先生を呼べば患者さんも増え利益も出てくる。八鹿病院で十分診察してもらえる状況にして欲しい。</p>	<p>① (後日回答分) 明石市立天文科学館では、養父市民に対して(養父市に住所を置いていることを証明するものがあれば)入館料を2割引している。昨年実績43人。</p> <p>② 石見は住民挙げての取り組みが凄かったと聞く。議会の中で議論はしていない。昨年の生野での鉱山シンポジウムでは中瀬は取り上げられていなかった。世界遺産というからには世界にどれだけ影響を与えてきたのかが問われてくる。地域住民挙げての取り組みとともに議会もある。</p> <p>③ どの報告会でも意見をいただく。一般論だが、全国的に医師確保が難しい中では医師が来たいという病院になることと、住民がそういう病院に仕組んでいくことが必要だ。報酬を上げるだけではなくそういう理解をする必要がある。過疎計画の中で医療確保が一番に上がっている。診療所の医師確保も含めて地域自治協議会でも議論願いたい。病院組合議会のなかでも十分議論していきたい。</p>
その他 (提言)	<p>① インターチェンジ名称に氷ノ山が付いたことはいいが何をインパクトにするのか。車の渋滞対策も考えておかないといけない。それらをトータルに考え、議会として当局に対案出せるくらいの市民を巻き込んだ将来への議論が欲しい。東日本大震災で西日本の役割が増え、高速道路の使い方も見えてくる時代。養父市の位置付けも変わってくる。養父市の将来を深く研究してもらい、議会報告会で考えの意見を聞くことになれば市民が議会に寄せる熱い思いも違ってくる。首長は遠い存在だが議員は地域に居て近い。その仕掛けづくりを是非願いたい。</p>	<p>① 提言として賜ります。首長も経済成長戦略会議に基づいた計画事業を幾つか打ち出している。議会も基本条例の中で政策提言を打ち出しているが、未だそこまで至っていないのが現状である。全体反省会の中で提言意見をだしていく。</p>
<p>備考(今後の改善点等)</p> <p>「議会報告会実施要綱」に自治協議会単位で時期・会場を設定するよう明記されていることから、今後は各自治協議会での年度事業に「議会報告会の開催」を計画掲載していただき、議会が説明に伺うという流れをつくりだすことができれば、参加者増や各地区意見の集約につながる要因になるのではないかとと思われる。</p>		

議会報告会を実施したので、上記のとおり報告いたします。

平成23年5月2日

報告者 4班 班長 勝地恒久

